

# 週刊すず辰<sup>たっ</sup> (第362号) 令和1.10.21

火金だけ18:30まで。

今週も、“すず辰(すずたっ)”が厳選しました農家さんの野菜(果物)たちをお買い上げいただきありがとうございます。ぜひおいしいもの好きなお友達・お知り合いにもお声かけください。お客様の輪が八百屋の力になります。

## ●今週のピックアップ商品○(来週もあります。)

### 新潟の枝豆、ラストにつきセールです。

6月末からご愛顧いただきました、新潟は鈴木農園の枝豆。最後の品種“肴豆”もいよいよ終わりにつき、セールです。

今まで100g180円でしたが、売り切れ御免の100g100円にて。

涼しい秋に合う、ほどよい香りとコクのお酒の肴(さかな)に最適の肴豆。ぜひぜひ最後に味わってみてください。

千葉の生落花生もあと少し残っています。



### りんごいろいろ。

出だしの早生時期は品種いろいろ。

肌目がサビ病になりやすいために出回りが少ないものの、香り強く糖酸バランスの良い“キュート”、黄色の皮が目印で人気です。長野県が開発した、パッキバキの食感の“シナドルチェ”、強い食感が特徴です。“ふじ”の枝替わり品種“昂林(こうりん)”。シャキシャキで強い甘み。お試しあれ。



## ▲すず辰のこぼれ話▽ 次の京とうふは10/24、26、29、31です。

### ★今週は10/22(火)はお休み、25(金)は18時半まで。

22(火)は即位礼正殿の儀に伴う祝日でお休みします。

その一方で、「火曜だけ18時半まで」を拡大。今週から「金曜も18時半まで」始動です。週末の入り口金曜日。週末の佳き食卓を彩るための野菜たちや加工品をお買い求めの人たちが増えたらいいなと思っています。というわけで、「すず辰、火金は18時半までやってるってよ」ってことで、平日働いているお知り合いなのでロコミただけるとうれいす。すず辰マガジンを今週お買上げの方全員に1冊ずつ差込ますので、興味ありそうなご友人・お知り合いにぜひぜひお渡しくださいませ。

「火金は18時半まで」。よろしくお祈いします。

## ◆ちよっとまじめな話:元データを見直す大切さ。◇

まずは引用から。『例えばスーパーで200円のキャベツを買ったとします。その「原価」つまり、農家の方が手にする収入はいくらご存知ですか?ざっくりいって、20円です。つまり、180円が中抜きされています。これが、日本の今の経済社会の歪みを象徴的に表しています。』

とあるウェブ上の論考で、タイトルに『「野菜の値段の9割は中間マージン」の衝撃』とあった文章なのですが、青果の流通業界にいる身として、「えっ、本当?? どころからそんな数字が出てくるの?!」といった感じだったのです。

コンサル会社マッキンゼーの資料が元になっているというので、元資料をザッと見てみました。そこで見つけたのが以下です。

『サプライチェーンにおける中間業者のコストは、生産額の約9割にも上る』『加工用や外食向け以外で、直接、消費者に販売される生鮮食品の生産・輸入額は3.1兆円だ。驚くべきことに、それに対して実に2.8兆円の流通マージンが上乗せされている。これらは、主に卸市場における手数料や配送にかかっている費用である。日本の農業全体に非効率を引き起こしている可能性があり、他国とのさらなる比較を通じて実態を知る必要がある(図表8)。』

これ気を付けて読まないといけませんが、「2.8兆円の流通マージンが上乗せ」されているので、小売額は3.1+2.8=5.9兆円なんです。なので、生産額を100とすると、90の流通マージンが上乗せなので、小売額は190。「スーパーで200円のキャベツのうち、農家さんの手取りは20円でなく約105円」が正解です。

200円のうちの20円と、200円のうちの105円では全然違います。きっと「日本の青果物流通は非効率的で、いろいろ改革しないとしょうがない!」という思い込みが先にあって、ふと見た資料を自分にいいように勝手に変換(間違っ理解)して偉そうに論評。。

困ったもんです。そして、そんなでたらめな話が、業界のことを知らないけど影響力のある人が安易に拡散してしまう現代社会。

元データを見直す大切さを改めて感じました。

すず辰マガジンがウェブで読めるようになりました↓



### 《すず辰について》

鈴木辰徳(辰年:43歳。12.9.7歳の3児の父)がH23に開業。「野菜で笑顔を結ぶ」をモットーに、作る人と食べる人の笑顔の架け橋となるべく、素敵な農家さん、野菜果物のおいしさ楽しさをご提案。路面での販売“マルシェすず辰”を経て、H25/3/25念願の店舗オープン! マンガ“八百森のエリー”絶賛応援中! 函館市本通1-24-3(店舗) 店前・店横駐車可。平日11時半・土曜12時半開店 17時閉店(日祝日休み) ★火・金だけ18時半まで開店★ TEL/FAX:0138-76-9865 メール:suzutatsu831@ncv.jp HP:https://suzutatsu831.com/

10/18(金)に掲載されました道新のリレーコラム「立待岬」の文章です。

## ◆【立待岬】ボランティアを募るしくみがあったなら。◇

最近では、クラウドファンディングという仕組みがあります。個人や組織がやりたい取り組みをウェブ上で公開し、それを見た一般の賛同者の方から広く資金を集める仕組みです。

クラウドファンディングは「お金」を集める仕組みですが、地域で「人」を集める仕組みができないものかと考えています。

3年前の1月にこの「立待岬」のコラムにて、「子ども食堂がやりたいです」と書いたのがきっかけで、人・物・お金が集まり、開催にこぎつけました。地域にいるんな方がボランティア活動や市民活動をされていますが、せっかくよい活動も、人手が足りないために継続が困難になる話をよく聞きます。活動内容を周知して、人手を募る仕組みがあればいいのになと思います。活動内容がわかればやってみたいという人は結構いると思います。地域の掲示板のような。

というわけでスタッフ募集の活動を2つご紹介。北斗の中野通団地集会所にて、地域の居場所づくりを目的に、子どもがいろんな体験ができる場を作る予定です。初回は11/9(実行委員会(小野建業内73-5364)。もう一つは、北斗の広徳寺さんで、「しゅくだいカフェ」と題し、民間の学童のような場所を作ろうとされています(宮崎新聞販売所73-2228)。10/19に子育てセミナーを実施予定です。興味のある方はご連絡ください。(八百屋すず辰店主)

コラムを読んだ方が翌日早速来店してくれました。

幼児用の衣類の譲渡会を主催しているものの、会場設営にあたっての人手が足りない。すでに3年目で、春と秋の開催で続けてきて、1度の開催で300組くらいのご家族がやってくるらしく、会場としてある程度の駐車場が必要だと。で、条件が良い会場では、ある程度設営の人出を事前に確保できていることが求められると。。。

300組って、なかなかです。

現状設営はスタッフの女性陣(子育て中のママさん)が中心で、中には身重の方もいるとか。スタッフの女性のダンナさんが仕事が休みなら頼めるものの、なかなかそうもいかない。

参加者がそれだけいるのなら、参加者の中から設営の人員を募ってはとお話してみました。

それにしても、人手が足りてない活動は探せばいっぱい出てきそうです。

うまく活動と人をつなげるしくみ、できるとずいぶんよくなる気がします。

改めて周知したくて再録。周りに出産したての方がいましたら。

## ◆こぼれ話: 子どもの夜泣きはしょうがない! ◇ (2013/1/23)

知り合いに子どもの夜泣きに苦勞している人がいると、紹介している本があります。我が家も女房が長女で苦勞し探し当てた本です。この本に基いて育てた長男・次男はほぼ夜泣きゼロで助かっています。

夜泣きの第一の要因は、寝る前にしっかりと母乳(ミルク)を飲んでいないための空腹。寝る前に飲む量が少ないと、途中でお腹が減って起きる。あと、昼間の睡眠がある程度しっかりできてないと、昼間飲むべきときに眠くて飲めないってことも。夜のオムツ替えは、うんちの場合だけなのであっても1回だけ。だから、いかに昼の間にうまく睡眠と母乳のタイミングを作ってやるかが大事です。そもそも赤ちゃんの状態(寝る時間、飲む乳の量)が成長に伴い変わっていくように、母乳の出も時間が経つにつれて変わっていきます。成長に合わせて母子ともに生活リズムを変えていくことが大切ですが、このような生活の知恵は医師も看護師(助産師の一部)も共有されず、「今は大変やるけど、そのうちなんとかなる」って一言で済まされてしまうのが現状です。本には月齢ごとに気をつける点、寝かしつけのポイント(真っ暗な部屋で寝かせる、タオルでしっかりくるんで寝かせるなど)が丁寧に書かれています。(丁寧すぎる部分もあるので実践は「適当に」できるところから。)

あと、「抱っこ寝&添い乳」は習慣づくと、「抱っこしないと、乳を飲みながらでないと、眠れない」という恐ろしい習慣がつくためしない方がよいです。添い乳だとなかなか一杯になる前に寝てしまうので、夜起きる確率が高くなってしまいます。

睡眠と食事と遊びの時間を分けることが大事です。このリズムができると、赤ちゃんがぐずってもなんで機嫌が悪いのかがだいたい予想がつくので親にも余裕が生まれます。

うちの長女は、女房も初めてでしたし、私も仕事仕事で育児せず、「抱っこ寝・添い乳」が基本となり夜泣きが習慣化。女房が大変苦勞していました。本に出会ってから、それなりに寝るようになりまし、産後から、しっかり生活リズムをつけた次男(11か月)は、保育園後の19~21時に一寝し、お風呂・ミルクの後、22時に寝ると、5時過ぎまではそのまま寝てくれます。(13/1/23)

